



れいめい高校

■所在地 薩摩川内市隈之城町2205
 ■校訓 不屈不撃
 ■学科 (全学科、男女共学)
 •文理科
 •普通科 [みらい探究コース・キャリアアップコース]
 •工学科



学校の特色

- 知育、德育、体育のバランスのとれた全人教育
- 基礎教科における授業内容の精選
- 達成度に応じた個別指導
- 挨拶、容儀・服装などの基本的生活習慣の確立

変動する社会に柔軟に対応するために「気づき」「考え」「行動する」、この三つのことを常に念頭において、本気になって勉強や部活動に取り組み、目標(ゆめ)実現のために努力する生徒の育成を目指します。また、「強い心」を育むために、学校生活の中でしつけ教育を徹底するとともに、コミュニケーション能力を養い、生徒自ら「明るく・楽しく・元気よく」自主的に行動する生徒主導型の学校を目指します。さらに、生徒一人ひとりが持つ潜在能力を最大限に引き出すために、教師が本気で生徒と向き合い、目標の実現に向かって親身になって最後まで支援します。

今月はれいめい高校の4人です

県建コン×鹿高専学生 業界を周知



開講を前に有意義な時間となることを願った室屋委員長=霧島市の同校

活躍する日を期待



活動に対する知識を指導。「安全教育や危険予知活動の重要性などを詳しく持つことが、新規入場者に対する指導であります」と語った。

第一工科大学は11月29日、姶良市の道路災害防除現場で視察授業を行った=写真。環境エネルギー工学科3年生約20人

安全知識など学ぶ

が、安全作業における必要な知識や補強土壁工法などについて学んだ。

現場は、山藤建設(岩下吉則社長、姶良市)が施工する姶良市発注の「久末薄原線3-1-3防災・安全交付金(災害防除)」。

最初に岩下社長が工事概要や作業をする上で必要な新規入場者

を指導。「安全に対する知識をしっかりと持つことが、新規入場者に対する指導であります」と語った。

その後、現場を見学。学生らは普段見ることがない実際の施工現場で、説明を聞きながら質問したり、メモを取るなど熱心に学習していた。

田工織の担当者が同工法の特長や施工方法、実績などを紹介した。

その後、現場を見学。学生らは普段見ることがない実際の施工現場で、説明を聞きながら質問したり、メモを取るなど熱心に学習していた。

田工織の担当者が同工法の特長や施工方法、実績などを紹介した。

その後、現場を見学。学生らは普段見ることがない実際の施工現場で、説明を聞きながら質問したり、メモを取るなど熱心に学習していた。

田工織の担当者が同工法の特長や施工方法、実績などを紹介した。

その後、現場を見学。学生らは普段見ることがない実際の施工現場で、説明を聞きながら質問したり、メモを取るなど熱心に学習していた。

田工織の担当者が同工法の特長や施工方法、実績などを紹介した。

建設協会
木工部

輝け若人

私は幼いころから、物を作ることが好きでした。建設業界への興味を持ち出したのは兄がれいめい高校工学科に入学したことがきっかけでした。

入学後、たくさんの体験授業を受けました。産・官・学が連携で実施する「若手育成プロジェクト」では、IC

Tの建設機械の操作体験や重機操作の基礎基本を指導してください

リノベーション実習

させていただきました。作業では大工作業をはじめる間コンクリート



れいめい高校 2年
工学科

大場 愛香さん

私は一人だけですが、一切嫌な思いもせず、楽しく勉強ができます。

女子は私一人だけですが、一切嫌な思いもせず、楽しく勉強ができます。女子は私一人だけですが、一切嫌な思いもせず、楽しく勉強ができます。

企業説明会も学校内で実施され、建設業界で働く方々のお話を聞き、改めて建設業で働きたいと思いました。

今、工学科全学年で

まだ計算技術検定3級

しか持っていないので、

来年度、就職の視野

を広げるために、さまざま

な資格試験に挑戦

していきます。

まだ計算技術検定3級

しか持っていないので、

来年度、就職の視野

を広げるために、さまざま

な資格試験に挑戦

していきます。

大規模現場に驚き

加治木工高現場見学会



普段みることのできない地下の様子に見入る生徒ら=霧島市の現地

見学会は、次代を担う高校生に地元建設業への就職を促進しようと毎年実施。同日は、県始良・伊佐地域振興局建設部から橋口部長、大内正人技師、土木科1年生実習生を対象に現場見学会を実施した。土木科1年生38人(男子37人、女子1人)が普段見ることができない大規模な工事現場を見学し、建設業の役割や魅力を体感した。

講座では、原田隆男委員(新技術コンサルタント)が計画策定や環境調査などといった各種業務の内容、求める人材像などを説明。同校OBで大福コンサルタントに勤務する中野誠氏も講師を務め、実例解説(公共交通機関)としてその業務概要を丁寧に紹介した。講座を終え、県内就職を目指す立和名圭太さんは「業務そのものが地域貢献につながっていることに魅力を感じた」と笑顔。室屋委員長は「県内コンサル業で受講した学生が活躍する日を期待したい。今後も(鹿高専での)講座を継続できたら」と語った。

第一工科大学は11月29日、姶良市の道路災害防除現場で視察授業を行った=写真。環境エネルギー工学科3年生約20人

下吉則社長(岩下吉則社長、姶良市)が施工する姶良市発注の「久末薄原線3-1-3防災・安全交付金(災害防除)」。

最初に岩下社長が工事概要や作業をする上で必要な新規入場者

を指導。「安全に対する知識をしっかりと持つことが、新規入場者に対する指導であります」と語った。

その後、現場を見学。学生らは普段見ることがない実際の施工現場で、説明を聞きながら質問したり、メモを取るなど熱心に学習していた。

田工織の担当者が同工法の特長や施工方法、実績などを紹介した。

その後、現場を見学。学生らは普段見ることがない実際の施工現場で、説明を聞きながら質問したり、メモを取るなど熱心に学習していた。

田工織の担当者が同工法の特長や施工方法、実績などを紹